

This is a newsletter from Shinshu University Global Education Center (GEC).
In case this email newsletter is unreadable, please try the online version
http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/about/publications/docs/suicnewsletter_vol155.pdf

Vol. 55 2015. 7. 16

信州大学グローバル教育推進センター ニュースレター
Shinshu University Global Education Center (GEC) Newsletter

発行：信州大学グローバル教育推進センター(GEC)
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/>

[今号の目次]

- * ごあいさつ
- * 最近の出来事
- * 信大NOW No. 93
- * スタッフ近況報告 グローバル教育推進センター非常勤講師 牧野昭子先生
- * 生活ちょっとコラム

■ □
□ ごあいさつ

みなさんこんにちは！

日本列島は、梅雨（つゆ）の影響で、雨や曇り空の多い季節です。

そんな中、時々見ることのできる梅雨の晴れ間はとてもさわやかで、気持ちのよいものです。休日はアウトドアレジャーに出かけたい気持ちを抑えて、洗濯に追われてしまうのですが（笑）

みなさんの国では、この時期はどのような季節なのでしょう？どんな季節でも、太陽に照らされると気分も晴れて、どこかへ出かけたくくなりますね。

今年の夏の予定を計画し始めてもいいころではないでしょうか？

それでは、今日も元気にニュースをお伝えしていきます！

■ □
□ 最近の出来事

★ベトナムFPT大学ビジネス英語およびインターンシッププログラムの成果報告会を行いました

昨年度2月～3月に信州大学の協定校ベトナム・FPT大学で行われたビジネス英語及びインターンシッププログラムに参加した学生による成果報告会が、2015年5月23日（土）に開催されました。

このプログラムは、「マーケティング」と「教育」の2つのチームに分かれて行われ、「マーケティング」チームは、就職活動に役立つ模擬面接や英文履歴書の書き方などを学び、「教育」チームは、研修最終日には2時間の授業を任せられ、折り紙や日本のアニメなどを通じ現地の子供たちと交流しました。

その他、今回の研修により今後の学生生活や卒業後の人生にどのように反映させるかを英語での発表を行いました。

詳しくはこちら
↓ ↓ ↓

★2015年度全学国際交流旅行を実施しました

6月13日～14日、グローバル教育推進センター主催の全学国際交流旅行が実施されました。

この旅行は、日頃交流の少ない各キャンパス間の留学生と日本人学生および教職員が、異文化理解、国際交流を深め、グローバルなネットワークを形成することを目的として毎年実施しています。今回は留学生77名と日本人学生など13名、佐藤副センター長をはじめとした教職員6名の総勢96名が参加し、黒部ダム・安曇野方面方面に出かけてきました。

初日は、大町温泉郷の宿泊旅館に到着後、グループごとにディスカッションを行いました。その後、お膳を囲んだ日本風の懇親会や温泉入浴もあり参加者に好評でした。2日目は黒部ダムや、大王わさび農場を散策し、学生同士の異文化交流を深めるよい機会となりました。

★インターバル速歩がNew York Times Magazineに紹介されました

信州大学先鋭領域融合研究群（ICGER）バイオメディカル研究所先端疾患予防額部門の能勢博教授、増木静江准教授らの研究グループが開発したインターバル速歩（早歩きとゆっくり歩きを3分間ずつ交互に繰り返す運動方法）がNew York Times Magazineに掲載されました。

記事には、能勢教授と増木准教授のコメントが掲載されています。

詳しくはこちら
↓ ↓ ↓

<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/ibs/topics/amhp/new-york-times-magazine.html>

★多くの留学生が第6回こいこい松本参加しました

2015年6月28日（日）第6回こいこい松本（松本国際ふるさと祭り / International Cultural Festival in Matsumoto）がMウイング（松本中央公民館）で行われました。

英語圏、ラテンアメリカ、中国、タイ、モンゴル、欧州、ネパール、韓国、ベトナムなどのブースに分け、各国出身の学生や日本人ボランティアの方々によって、各国語での挨拶や食文化などを多くの人に伝えようと頑張っている姿がとても印象的でした。

今年のこいこい松本では4月に発生したネパール地震のための募金活動も行われ多くの方に、ネパールの現状をお伝えする機会にもなったと思います。

松本市をはじめ近隣在住の子供から大人まで、世界各国の文化に触れるととても良い機会でした。

■ □
□ 信大NOW No. 93のご案内

信州大学のニュース、歴史や人にまつわる記事、イベントや公開講座の紹介、研究者の研究内容など、信州大学が良くわかる広報誌「信大NOW」

最新号の目次を紹介します。

<No. 93>

○SNAP SHOT

平成27年度 信州大学入学式

○信州大学伝統対談 山沢学長×斎藤由香さん
どくとるマンボウと信大生のDNA

○広報戦略の新しい試み
信州大学 広報スタッフ会議
外部アドバイザー 座談会

○トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム 選抜
アメリカのキノコ会社でインターンシップ
大学院農学研究科 倉田 紗耶加さん

○医学部地域保健推進センター
多様な連携協力を可能にして地域の保険活動を推進

○平成23年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業
女性研究者研究活動支援事業が事後評価「S」に！

○信州大学「知の森基金」に多くの皆様からご寄附いただき、心よりお礼申し上げます。

全文は信州大学の公式Webサイト上でデジタルパンフレットとして公開
されていますので、ぜひご覧ください。

↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/publication/#publication>

■ □

□ スタッフ近況報告 グローバル教育推進センター 非常勤講師 牧野昭子先生

こんにちは&はじめまして。今年4月から木曜日の授業を担当している牧野です。諏訪湖の近くの原村という所に1年ほど前から住んでいます。その前は大阪に30年以上、大阪に行く前は東京にいました。関東、関西、信州と生活環境が変わったわけですが、いちばん感じる地域の違いは言葉と食べ物です。

今では大阪弁はテレビなどでもよく耳にしますが、私が東京から大阪に移ったころは初めて聞く言葉も多く、スムーズなコミュニケーションに慣れるまで大変でした。こちらに来てからは、そのような経験はあまりありませんが、地元のお年寄りの会話は時々わかりにくいことがあります。

食べ物については、大阪に行って、うどんのおいしさにびっくりしました。皆さんもご存知だと思いますが、日本は「うどん」と「そば」のおいしい地域に分かれます。関西や四国は何といても「うどん」です。信州は「そば」です。こちらに来てから、おいしいそばを何回も味わいました。絶品のおそば屋さんも見つけました。

皆さんもきっと言葉と食べ物に苦労したことがあるでしょう。でも、お気に入りの味を見つけたら、幸せな気分になります。おいしいものは体も心も元気にしますね。やっぱ、そうずら？（諏訪弁で「やっぱり、そうでしょ？」）

■ □

□ 生活ちょっとコラム ～旬の夏野菜～

日本では、夏の旬（しゅん）野菜が出回ってきました。一言で「旬野菜」と言っても、近頃はスーパーに行けば一年中買うことのできる野菜も多くなりました。

「旬」とは、野菜や果物などが出盛りでもっとも美味しく、その分、栄養価も高いといわれています。それでは、旬の夏野菜をいくつかあげてみましょう。トマト、茄子（なす）、胡瓜（きゅうり）、とうもろこし、オクラやインゲン豆、などなど。

